



Vol.3 令和6年度

発行 大阪維新の会 大阪府議会議員団
http://osaka-ishin.jp/
〒540-8570 大阪市中央区大手前 2丁目1番22号(大阪府庁内)
TEL (06)6946-5390 FAX (06)6946-5391

大阪維新の会 大阪府議会議員

杉江ゆうすけの府政報告

都市住宅常任委員会で質問!

大阪、吹田の課題解決に、全力疾走!

今回の維新タイムズ(議会報告)では、9月定例府議会都市住宅常任委員会における私の質問の一部を記載しています。都市計画道路・豊中岸部線の整備、吹田市内を流れる河川や下水道の整備状況(ゲリラ豪雨対策)、万博外周道路流入部の歩車分離の検討、なにお筋線の整備状況及び人件費・資材高騰の影響等について取り上げました。

また裏面には、9月府議会の維新代表質問や2025大阪・関西万博関連のトピックを記載しています。是非、ご一読頂き、ご意見ご感想等お寄せください。引き続き、大阪・吹田の成長発展に寄与できるように活動していきます!



Online Council Report (毎月22日開催中) QR code, YouTube channel info for Sugie Yusuke

府政に関する相談やお問合せは 杉江友介 事務所まで

〒564-0025 吹田市南高浜町26-3 TEL (06) 6318-0055 FAX (06) 6318-0057 Mail info@sugieyusuke.net HP sugieyusuke.net



杉江友介の一般質問

議会ネット中継はこちら

都市計画道路・豊中岸部線の進捗と今後の進め方

Q. 杉江友介

「岸部南工区」について、私は、令和5年2月の本会議において用地を速やかに確保することが事業推進の肝になると指摘してきた。また、「岸部北工区」については、今年度から事業着手されたが、地域住民からは、本路線により分断される紫金山公園(しきんざんこうえん)の緑をできるだけ残してほしいと要望する声が上がっている。そこで、都市計画道路豊中岸部線の両工区の現在の進捗と、地元要望を踏まえた今後の進め方について伺う。

A. 大阪府

「岸部南工区」については、令和4年度からは、順次、物件調査や用地交渉が進められており、現時点で、約3割の用地を確保。今後、早期の用地取得完了に向け進めていく。また、今年度からは、地下埋設物の移設協議や阪急京都線のアンダーパス部における構造物の詳細設計に取り組む予定。

「岸部北工区」については、本年5月に地元説明会を行い、現在、現地測量や道路の予備設計に取り組んでいる。府としても、紫金山公園の緑に関して要望をお聞きしており、今後、設計を進める中で、地元の意見をお聞きしながら、紫金山公園への配慮について検討していく。



吹田市内の河川の整備状況

Q. 杉江友介

近年ゲリラ豪雨が増加しており、本年9月12日には、北摂地域で時間雨量50ミリ、10分雨量20ミリの降雨を観測し、吹田市を流れる糸田川において、氾濫危険水位を一時的に突破するなど、地域の方々からも、ゲリラ豪雨による浸水被害を不安視する声を聞く。大阪府では「今後の治水対策の進め方」に基づき、河川毎に当面の治水目標を設定し、河川改修や貯留施設などを組合せた治水対策を進めている。

そこで、吹田市を流れる、糸田川、上の川、高川、正雀川、山田川の5河川の整備状況について伺う。

A. 大阪府

吹田市域の5河川の整備については、当面の治水目標を定め、時間雨量80ミリに対して床上浸水が解消されるよう対策を進めている。

糸田川については、堤防の嵩上げや河床掘削の実施により、当面の治水目標を概ね達成しており、その上流に位置する上の川については、貯留施設の整備や雨水排水管の管理者である吹田市と連携しその付替え工事を実施した結果、令和4年に当面の治水目標を達成している。

さらに、高川、正雀川、山田川については、時間雨量50ミリ程度の整備は完了しているが、当面の治水目標の達成に向けて、市や関係部局等と連携し、正雀川上流にある釈迦ヶ池の放流口の改良など、各河川の上流域のため池の治水活用による対策を順次進めている。

淀川リバーサイドサイクルライン バイク止めポールの取替等の検討状況

Q. 杉江友介

万博の開催に向け、現在、淀川沿いのサイクルラインの整備が着実に進められているが、一つ残念なのは、折角サイクルラインが整備されても、そのルート上に多数の車止めなどのポール、「通称メタルクワガタ」が設置されており、サイクリングの際の走りづらさや、車体の幅が広い子供載せ用電動式自転車での通り抜けが難しいといった課題がある。メタルクワガタの取替や材質変更なども早期に実施すべきと考えるが、現在の検討状況について伺う。

A. 大阪府

淀川沿いのサイクルラインにおける「通称メタルクワガタ」は、サイクルラインへのバイクの進入による自転車や歩行者との接触事故を防止するため、河川管理者である国の許可を得た上で、設置しているが、サイクリングの際の走りづらさなどの課題があり、改善が必要と認識。

そのため、現在、自転車により快適に走行できるよう、形状変更しても安全性が確保できるかといった観点から、メーカーへの対策方法のヒアリングや、他の道路管理者の対策事例の収集を行い、これらを踏まえ、河川管理者である国と協議を行っている。

「通称メタルクワガタ」設置状況



淀川沿い自転車道

大阪維新の会 大阪府議会議員団の府政報告

大阪の成長に向けて、吉村知事らと論戦!



吉村洋文知事

維新府議団代表質問

令和6年9月定例会 (9月25日)

紀田馨 政調会長



2025年日本国際博覧会児童・生徒招待事業

Q 学校現場からは招待事業について心配の声もある。諸課題について最新の内容を速やかに学校現場に提供すべき。

A 10月から団体予約が開始されるため、学校現場から聞いている課題や、安全・安心に来場いただくための取組みについて、改めて説明会を開催したい。

24時間楽しめる都市・大阪の実現

Q 2030年秋頃には24時間営業のIR開業が予定されており、多くの観光客が来訪するため、夜間の観光コンテンツも重要。24時間楽しめる都市・大阪の実現に向け、知事はどのように考えるのか。

A 御堂筋イルミネーションの実施期間を延長することに加え、点灯時間の延長も検討するなど、大阪観光局と連携して、新しい夜の価値を創出し、昼夜を問わず多様な楽しみ方ができる「24時間おもてなし都市」をめざしていく。

大手前地区の活性化

Q 大手前地区には有効活用できていない土地・建物が多く、そのまま放置するのは大きな損失である。老朽化している庁舎も含めて、有効活用の検討を開始すべき。

A 現在、耐震性能のない既存庁舎の安全確保を着実に進めるよう取り組んでいる。その後の検討については、大手前地区の土地利用の中でトータルに考えていく必要がある、中長期的な課題と認識している。

府立高校の今後のビジョン

Q 府立高校各校が特色や魅力づくりを強化するためには、学校長へ自由に活用できる予算を与え、権限を強化すべき。

A これまでも校長裁量予算にて、パンフレットやSNSを活用し、情報発信を行ってきた。今後とも各学校で特色や魅力づくりが進むよう、予算も含め有効な手法等について、検討を進める。

中川誠太 幹事長代理



エディオンアリーナ大阪のトイレ洋式化

Q 具体的にいつまでという目標年次を明確に定め、進めていくべきと考えるが、知事はどのように考えるのか。

A 改修工事期間中を活用し、トイレ工事を進めることで、令和8年度中に洋式化を図っていく。

大阪府安全なまちづくり条例

Q 「大阪府安全なまちづくり条例」の改正にあたり、「高齢者のATM操作時の通話禁止」とあわせて、より効率的・効果的な被害防止策である「ATM振込限度額の引下げ」についても検討すべき。

A 大阪府特殊詐欺対策審議会において、金融機関等による「ATM操作時の通話禁止」を義務化できないか、検討を行っているところ。また、「ATM振込限度額の引下げ」は、利用者の利便性も考慮する必要があるため、今後検討を進めていく。

ワンストップ支援センターの機能強化

Q 民間のワンストップ支援センターであるNPO法人「性暴力支援センター大阪・SA CHICO」について、来年3月末の期限までに移転先を確保し、機能を維持・充実していくことが不可欠。知事はどのように考えるのか。

A SACHICOと協議しながら、早期に移転先を確保し、ワンストップ支援センター機能の継続性を確保するとともに、各機関との連携強化等により機能充実を図る。

適切な価格転嫁促進に向けた取組みの強化

Q 物件や役務の契約において、受注者から労務費等のコスト上昇に伴う契約金額変更の申出が行えるよう、府の方針に盛り込むことについて、府全体で確実に取り組んでほしい。知事はどのように考えるのか。

A 府の発注契約においては、府の方針を速やかに改定し、契約変更の申出があった場合には、迅速かつ適切に協議が行えるよう取り組んでいく。

9月定例会提出の

令和6年度 一般会計補正予算 (第2号)

総額 62億4,200万円

主な項目

万博来場サポートデスクの設置	3,843万円
能登半島地域の子どもの大阪観光への招待	4,606万円
医師の勤務環境改善の支援	59億2,353万円
新モビリティ推進事業	6,586万円
児童生徒の万博会場への招待	5,205万円
宿泊税条例改正に係る準備経費	1,831万円

チケット購入をサポートする

万博来場サポートデスク

大阪・関西万博のID取得

入場チケット購入などの手続きをサポート!



実施期間：来年10月13日までの予定 (年末年始除く)

実施場所：大型ショッピングセンターや区役所など4カ所

開設時間：午前10時から午後5時まで

詳細はこちらから▶



パビリオンや催事、会場アクセスなど万博関連の情報提供も行います。

万博会場までは3つのアクセス

- 電車でのアクセス 大阪メトロ中央線で会場最寄りの「夢洲駅」から会場へ
- バスでのアクセス 駅シャトルバス、空港直行バス、中長距離バスなどで会場へ (シャトルバス運賃：JR桜島駅から350円)
- 自家用車でのアクセス 「万博P&R (パークアンドライド) 駐車場 (舞洲・尼崎・堺)」からシャトルバスで会場へ

駐車場の利用料金 需給に応じて柔軟に変動させる「ダイナミックプライシング」を導入。

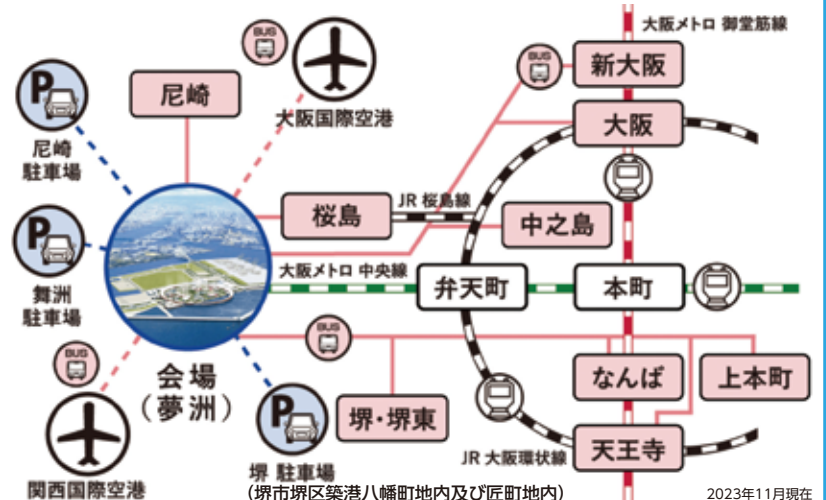
最も高いケース 合計7,500円

舞洲駐車場を利用 (基本料金5,500円)
混雑時間帯+500円、繁忙期+500円、一般道利用+1,000円

最も安いケース 合計4,000円

堺または尼崎駐車場を利用 (基本料金5,000円)
閑散期-500円、迂回ルート-500円

— 駅シャトルバス運行ルート - - - 空港直行バス運行ルート - - - 万博パークアンドライドシャトルバス運行ルート



2023年11月現在

「火星の石」が万博で展示される!

一般公開は初めて

「火星の石」は、2000年に南極で日本の観測隊が発見し、その後の分析で数万年前に火星から地球に飛来した隕石であることが確認されています。

水と反応してできる成分が含まれていることから、火星に水があることを示す貴重な資料だとされています。生物の起源を示す学術的な価値も高く、万博のテーマの「いのち」に深く関わる展示になるといわれています。

「火星の石」として全期間展示されます。また、隕石のかげらも同時に展示され、触れることが予定されています。

「火星の石」(国立極地研究所提供) 高さ16cm、幅29cm(ラグビーボールぐらい)、重さ13kg▶

